

**APECエンジニア(建築構造技術者) 審査申請書(新規用)**

様式1

一般事項等

APECエンジニア・モニタリング委員会 会長殿  
 建築エンジニア資格委員会 委員長殿  
 公益財団法人 建築技術教育普及センター 理事長殿

私は、APEC エンジニア Structural(構造)分野の登録をしたいので、審査の申請をします。

2020年 10月 1日

申請者氏名(自署) 建築構造

写真欄  
 縦4.0cm×横3.0cm  
 無帽・無背景・正面上  
 3分身を写した証明写真  
 最近3ヶ月以内に  
 撮影したもの

2020年 10月撮影

フリガナ: ケンチク コウゾウ 生年月日: 1972年 5月 1日 満 48才

氏名: 建築 構造 性別: (男)・女 国籍: 日本

一級建築士登録番号: No. 999999 2003年登録 (2002年試験合格) JSCA 建築構造士登録番号: No. 999999 2018年登録  
 構造設計一級建築士交付番号: No. 999999 2015年交付

二級建築士登録番号: 登録都道府県名 東京都 No. 999999 2000年登録  
 支庁・登録機関名(北海道・兵庫県のみ) \_\_\_\_\_

〒100-0000 東京都 000区 000 0-00-0 000マンション301号室

現住所: \_\_\_\_\_  
 (自宅)

電話 03(3000)1234 FAX 03(3001)1234 E-mail aaa@aaa.ne.jp

勤務先: 000建設株式会社

所属部署: 本社建築事業部 建築企画部 構造設計室 役職: 室長

〒100-0000 東京都 000区 000 0-00-0 000ビル22階

所在地: \_\_\_\_\_

電話 03(5000) 4321 FAX 03(5001)5432 E-mail bbb@000.co.jp

原則として、受理通知は現住所(自宅)メールアドレスへ送信、審査結果等の通知は現住所へ送付します。  
 現住所以外に送付をご希望の方は、該当する連絡先の番号に○を付け、2を選んだ方のみ下記の連絡先にご記入下さい。

連絡先: 1.勤務先 2.その他 〒 \_\_\_\_\_ E-mail \_\_\_\_\_

以下の勤務先分類と職務分類について該当する番号に○を付けて下さい。

勤務先分類: ① 建設業 2. 建築設計事務所 3. 構造設計事務所 4. プレハブ住宅業 5. 官公庁・公社・公団等  
 6. 学校 7. その他( )

職務分類: ① 構造設計 2. 工事監理 3. 教育・研究 4. 行政  
 5. その他( )

学歴(最終学歴欄について該当する番号に○をつけ、下記の欄に高等学校等以降で工学教育を受けたものを記入して下さい。なお、工学教育を受けていない方は最終学歴をご記入下さい。)

最終学歴: ①.大学卒以上 2.高専・短大卒 3.工業高校 4.その他

卒業(修了)年月	学校名	学部・学科・専攻等	取得学位
西暦 1991 年 3 月	〇〇工業高等学校	建築科	
西暦 1995 年 3 月	〇〇〇工科大学	工学部 建築工学科	工学士
西暦 1997 年 3 月	〇〇〇大学	大学院 〇〇〇専攻	工学修士
西暦 年 月			
西暦 年 月			

職務経歴(現在にいたるまでの勤務先について記入して下さい。期間は西暦でご記入下さい。)

期 間: 1997 年 4 月 ~ 2010 年 4 月  
 勤務先名称(部課名まで): 〇〇〇建築構造設計事務所  
 企画計画部 構造設計第一課  
 〒100-9999 東京都 △△△区 △△△9-99-99 △△△ビル 3階

所在地: \_\_\_\_\_  
 電話 03(5000)2345 FAX 03(5000)3456

主な業務内容: 意匠系設計事務所からの委託による大規模複合施設等の構造設計および解析(補助)。  
 申請用資料の作成。意匠・設備他各事務所との調整業務等。

期 間: 2010 年 5 月 ~ 年 月  
 勤務先名称(部課名まで): 〇〇〇建設株式会社  
 本社建築事業部 建築企画部 構造設計室  
 〒100-0000 東京都 〇〇〇区 〇〇〇 0-00-0 〇〇〇ビル 22階

所在地: \_\_\_\_\_  
 電話 03(5000)4231 FAX 03(5000)4231

主な業務内容: 複合施設等に付属する基礎部分の構造設計および解析。その他、自社構造設計指針の策定など。

期 間: 年 月 ~ 年 月  
 勤務先名称(部課名まで): \_\_\_\_\_  
 〒 -

所在地: \_\_\_\_\_  
 電話 ( ) FAX ( )

主な業務内容: \_\_\_\_\_

期 間: 年 月 ~ 年 月  
 勤務先名称(部課名まで): \_\_\_\_\_  
 〒 -

所在地: \_\_\_\_\_  
 電話 ( ) FAX ( )

主な業務内容: \_\_\_\_\_

期 間: 年 月 ~ 年 月  
 勤務先名称(部課名まで): \_\_\_\_\_  
 〒 -

所在地: \_\_\_\_\_  
 電話 ( ) FAX ( )

主な業務内容: \_\_\_\_\_

7年(84ヶ月)間以上の実務経験

(このうち重要な2年間のエンジニアリング業務に相当するものについてはナンバーを○で囲んで下さい。)

注意1: 担当した期間の合計が84ヶ月以上となるように、新しいプロジェクトから順に記入して下さい。

注意2: **担当期間が複数のプロジェクトで重複する場合は、実務経験の期間として月数を重ねてカウントすることはできません。重複する月数を除き、合計月数が84ヶ月を超えるよう記入して下さい。**

No.4	プロジェクトの名称: <u>SMOOビル</u>	事務局記 入欄
	構造エンジニアとして担当した期間: <u>2014年1月～2016年7月</u>	
	構造種別: RC・ <u>S</u> ・ <u>SRC</u> ・その他(.....)	
	規模: 延べ床面積 <u>90,450</u> m <sup>2</sup> 地上 <u>30</u> 階 地下 <u>3</u> 階建	
	プロジェクトの特徴: <u>詳細は様式3に記載。</u>	
	担当業務: ①. 基本設計 ②. 実施設計 ③. 監理(ポイント監理含む) 4. その他(.....)	
	申請者の果たした役割(30文字以上60文字以内): <u>詳細は様式3に記載。</u>	
-----		
	勤務先: <u>OOO建設株式会社</u> 電話: <u>03(5000)1111</u>	
	所属部署: <u>本社建築事業部 建築企画部 構造設計室</u> 役職: <u>室長</u>	

No.5	プロジェクトの名称: <u>Zビルプロジェクト 全天候型自動化施工システムの開発</u>	事務局記 入欄
	構造エンジニアとして担当した期間: <u>2011年7月～2012年10月</u>	
	構造種別: RC・S・SRC・ <u>その他</u> ( <u>自昇式施工システム</u> )	
	規模: 延べ床面積 <u>45,200</u> m <sup>2</sup> 地上 <u>25</u> 階 地下 <u>3</u> 階建	
	プロジェクトの特徴: <u>超高層マンションの建築構造に係る、.....</u>	
	担当業務: 1. 基本設計 2. 実施設計 3. 監理(ポイント監理含む) ④. その他( <u>システム開発</u> )	
	申請者の果たした役割(30文字以上60文字以内): <u>研究担当者とし、.....</u>	
-----		
	勤務先: <u>OOO建設株式会社</u> 電話: <u>03(5000)0000</u>	
	所属部署: <u>建設技術研究センター 構造技術企画課</u> 役職: <u>研究員</u>	

No.6	プロジェクトの名称: <u>OO県 YKI市 スポーツドーム</u>	事務局記 入欄
	構造エンジニアとして担当した期間: <u>2008年12月～2010年4月</u>	
	構造種別: RC・ <u>S</u> ・ <u>SRC</u> ・その他(.....)	
	規模: 延べ床面積 <u>23,100</u> m <sup>2</sup> 地上 <u>3</u> 階 地下 <u>1</u> 階建	
	プロジェクトの特徴: <u>トラス架構と△△△構造との組み合わせによるドーム屋根を持つ体育館。</u>	
	担当業務: ①. 基本設計 ②. 実施設計 3. 監理(ポイント監理含む) 4. その他(.....)	
	申請者の果たした役割(30文字以上60文字以内): <u>構造設計担当者として、.....</u>	
-----		
	勤務先: <u>OOO建築構造設計事務所</u> 電話: <u>03(5000)2345</u>	
	所属部署: <u>企画計画部 構造設計第一課</u> 役職: <u>主任</u>	

(1枚で書ききれない場合は、コピーしてお使い下さい。)

2年(24ヶ月)間以上の重要なエンジニアリング業務の責任ある立場での経験

注意1: 担当期間の合計が24ヶ月以上となるように記入して下さい。

注意2: 担当期間が複数のプロジェクトで重複する場合は、実務経験の期間として月数を重ねてカウントすることはできません。重複する期間を除き、合計の月数が24ヶ月以上なるようご記入下さい。

No. 1 プロジェクト名称: SMOOPビル 様式2の:No. 4 事務局  
記入欄

構造エンジニアとして責任ある立場での担当期間: 2014年1月~2016年7月  
(様式2の期間と一致しなくても結構です。責任ある立場として経験した期間を記入して下さい。)

規模: 延べ床面積 90450 m<sup>2</sup> 地上 30 階 地下 3 階建

構造種別: RC・ (S)・ (SRC)・その他(.....)

プロジェクトの所在地: 日本 国 OO 都・道・府・ (県) AA  (市) 町・村・区

プロジェクトの特徴(100文字以上 150文字以内): OO県AA市に所在する超高層ビル。(偏心コアタイプ)

高層部の平面形は、 .....

.....

.....

担当業務:  ① 基本設計  ② 実施設計  ③ 監理(ポイント監理含む) 4. その他(.....)

業務の分類: (「業務の分類」に対応した「申請者の果たした役割」を下に記入して下さい。)

業務の分類については、下記より該当する番号を選び(重複可)業務分類欄に、○を付けて下さい。

- a. 比較的小さな規模の業務について、企画、計画、設計、管理、監理、調整などの大半を実施した経験。
- b. 比較的規模の大きな業務の一部を担当して、業務全体を理解した上で関連部署との調整やチームの指導などを行い、業務を実施した経験。
- c. 複雑な条件下の業務、新しい考え方が求められる業務、あるいは複数の領域にまたがる業務などを実施した経験。

責任ある立場で果たした役割(400文字以上 500文字以内)

※ ①プロジェクトのマネジメントを適切に行ったこと、②チームの一員又はリーダーとして効率的に役割を果たしたこと、及び③それらの経験を現時点でどう評価するか、がわかるように記述すること。当該部分には、下線を引き、①、②及び③を付記すること。

本建物は約90,000 m<sup>2</sup>の超高層建築で比較的規模の大きい業務であった。設計に当たり、構造設計チーム4人のチーフとして、基本設計及び実施設計を通じて、設計の遂行及びまとめを行った。その際、設計チーム内では建築及び設備担当との調整や建築コスト調整を行い、対外的には発注者の要求事項と設計内容の調整及びその説明、了解を得る役割を果たした。②

・立場を明確に。  
・どのようにして役割を果たしたのか、できるだけ具体的に。

当建物は、.....という特殊な手法で実施されたが、.....することにより、一般に比べて複雑な発注者との調整を滞りなく行った。また、超高層建築であるため、.....等が必要であったが、.....することにより、これもスケジュール通り完了させた。監理段階では、構造担当として、適時に、施工図確認、現場確認、鉄骨関連検査や発注者への状況説明などを行うことにより、プロジェクトの順調な遂行に努め、予定通りの工期内で竣工に至ることができた。①

・制約条件を明確に。  
・どのように対応したのかを具体的に。

設計・監理を通じ、チーム内外との意思疎通の重要性が認識できた。また、本建物では竣工後.....を確認する試験も行われ、計算上と実際の性状比較ができ、その後の設計の参考とすることができた。③

図面等(縮尺は自由)のコピーの添付:

プロジェクトごとに、A4 サイズの用紙(2枚以内)に図面等を収め、右下にプロジェクト名称を明記し、この様式の次のページに添付して下さい。縮尺等を明記して下さい。

・現時点での評価を具体的に。  
・その後の業務にどう役立てたかを具体的に。

第三者による 証明者氏名(自署) 構造次郎 申請者との関係 所属長(上司)  
証明: 勤務先等 OO建設株式会社 電話連絡先 03(5000)4321  
所属部署 本社建築事業部 建築企画部 役職 部長

(1枚で書ききれない場合は、コピーしてお使い下さい。)